

<p>研究成果</p> <p>3,000 字程度 (別紙添付可)</p>	<p>標準語教育の歴史に関する事については、1911 年度以前の方言札の出現状況を解明し、現段階最も古い事例が金武尋常小学校嘉芸分校の事例(1895 年度か 1896 年度か)であることを指摘した。このことは、方言札の歴史を塗り替える新しい事実の指摘である。また、朝倉書店から発行予定の『方言辞典』に原稿を依頼され、「方言札」と「方言撲滅論」を執筆し、現在校正作業に入っている。</p> <p>個々の事例では、嘉芸分校の事例の他、伊良部島の佐良浜小の罰札のかわりに色付きのリボンを用いた事例や、糸満小の 1975 年度の方言札の事例など、従来の研究では言及されていなかったことがらなどについても明らかにした。</p> <p>この他に、これまでの研究では見逃されてきた女子教育に関する史料や、戦前の教員組合運動関係の資料の発見等があった。それらをどのように紹介するか検討を重ねている段階である。</p> <p>作業としては、これから行う予定であるが、平良北小学校の『平良尋常高等小学校 学校規定』の翻刻・解説という課題がある。</p>
--	--